

(単位：千円)

消 防 局 予 算 要 求 の 内 容			査 定 結 果	
事 業 名	事 業 概 要	要求額	査定額	内容
消防救急無線デジタル 化実証実験	<p>消防救急無線については、アナログ通信方式による150MHz帯の使用期限が平成28年5月31日に設定されており、今後のデジタル化に際し、安定的な運用と円滑な移行を目的として、平成21年度の国第1次補正予算により、総務省消防庁が全国からモデル都市として、実証実験を実施する消防本部の募集を行った。</p> <p>本市においても、逼迫する財政状況のなか、後年度財政負担をできる限り圧縮し、円滑な導入による市民の安心安全を確保するため、モデル都市として応募し、採択されたところである。</p> <p>平成22年度は、市民サービスの向上と円滑な導入に向け、国との連携を密にし、今後のデジタル化移行が円滑に実施できるために必要な調整等を行う。</p> <p><成果目標></p> <ul style="list-style-type: none">・消防救急無線の安定的な運用と円滑なデジタル化移行・デジタル化移行に伴う整備経費の圧縮	1,000	1,000	<p>■要求どおり</p> <p><input type="checkbox"/>積算内容精査</p> <p><input type="checkbox"/>事業内容精査</p>

※「予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。